

首記につきまして、皆様の善意の品を下記の通り持参致しましたのでご報告申し上げます。

記

1. 日程	平成 23 年4月8日(金)~10日(日)
2. 実施	危機管理教育研究所(NPO 国境なき技師団、WASEND、葛飾区綾瀬中学校教員、防災ネットワークプラン代表、株式会社ワイエンジニアリング、株式会社クニザキ様他との連携・ご支援にて実施)
3. 行程	<p>今回の搬送2tトラックを手配しました。その他ワンボックスカー2台で人と物資を運搬。 活動の効率性を高めるためAチームとBチームに分かれて行動しました。(Bチームの報告は別紙参照)</p> <p>活動Aチーム</p> <p>■往路</p> <p>●4月8日</p> <p>22:30 危機管理教育研究所 発</p> <p>●4月9日⇒南三陸町の避難所を回り物資の提供、避難所の様子を調査</p> <ul style="list-style-type: none"> i ベイサイドアリーナ ii 大上坊 iii 馬場 iv 石浜部落集会所 v 湊 vi 名足保育園 <p>16:50 陸前高田市 米崎小学校⇒心のケア班と合流</p> <p>18:15 大船渡市福祉の里センター ⇒入浴</p> <p>20:30 下富岡公民館 ⇒宿泊</p> <p>●4月10日</p> <p>08:30 大船渡市福祉の里 体育館 見学</p> <p>09:10 大船渡市消防署 訪問</p> <p>10:15 陸前高田市モビリアキャンプ場 心のケア活動開始</p> <p>⇒心のケア班モビリア活動中に 避難所調査班は下記の避難所を訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> vii 大陽公民館 viii 慈恩寺 <p>⇒心のケア班と避難所調査班の合流後慈恩寺にて心のケア活動に出発</p> <p>12:30 慈恩寺 心のケア活動開始</p> <p>■復路</p> <p>14:10 慈恩寺 発</p> <p>16:50 長者原 SA 着</p> <p>20:00 上河内 SA 着</p> <p>22:50 新宿および千葉にて⇒解散</p>

4. 訪問先	○活動Aチーム○ i ベイサイドアリーナ ii 大上坊 iii 馬場 iv 石浜部落集会所 v 湊 vi 名足保育園 vii 大陽公民館 viii 慈恩寺	
5. 支援品	○活動Aチームが提供した支援物資○ 大根1箱、バナナ2箱、干しシイタケ2袋、卵 2 箱 キャベツ 8 箱、水菜 2 箱、ハウレンソウ 2 箱 レタス 1/2 箱、モヤシ1箱 文房具	
6. 概況	i ベイサイドアリーナ	◆今回の活動◆ ・支援物資、特に野菜類を届けるにあたってニーズがあると思われるところを聞いた。
	ii 大上坊	◆今回の活動◆ ・支援物資を提供した。 提供したものは以下の通り 大根1箱、バナナ1箱、干しシイタケ1箱、卵1箱、キャベツ1箱、水菜1箱、ハウレンソウ1箱
	iii 馬場	◆今回の活動◆ ◇支援物資について◇ ・難者数 50 名以下の避難所であったが、そういった食事に関して切迫した状況ではなかった。 キャベツの需要は低く、干しシイタケのような保存できる野菜はよく求められた。 ・支援物資を提供した。 提供したものは以下の通り キャベツ2箱、バナナ1箱、干しシイタケ1箱、水菜1箱、卵 1/2 箱



写真1: 避難所の様子

iv 石浜部落集会所

◆現状◆

・薪で風呂を焚ける装置があった。

◆今回の活動◆

◇支援物資について◇

・食事に關して緊迫した様子はなかった。

・支援物資を提供した。

提供したものは以下の通り

キャベツ 2 箱、レタス 1/2 箱



写真5: 野菜の運搬作業



写真6: 薪で風呂を焚ける装置があった。



写真7:薪で風呂を焚ける装置があった。外からの様子

v 湊

必要なし

vi 名足保育園

◆現状◆

◇支援物資に関して◇

- ・やはり食事に関して緊迫した様子はなかった。
- ・支援物資を提供した。

提供したものは以下の通り

もやし1箱、キャベツ3箱、ハウレンソウ1箱、卵 1/2 箱、文房具(鉛筆、ノート、理科の教材、電卓)

中学生が 10 名ほどいるとのことだったのでそれ相応の文房具を置いた



写真7:支援物資運搬。

<p>vii 大陽公民館 10名程度</p>	<p>◆現状◆ ・水道の復旧がされていない ・公民館に避難している人数も減ってきてはいるが、食糧等の支援物資を配布する場所として自治会による運営をおこなっている。 ・自治会長より、国に対するお願いは、漁業の町なので一日でも早く、瓦礫を片付けてもらいたい！</p> <p>◆支援物資◆ ポリタンクの水 5つ</p> <p>◆今後の活動◆ ・少しずつ、会社が再開しているところもあり平日は避難所に滞留している人が少ないが多くなってきたので、週末の来訪を希望 ・公民館入口でお話した男性2人は炊き出しで食べた札幌ラーメンがおいしく、餃子やしゅうまいが食べられたらなお、嬉しいとのことでした。</p>
<p>viii 慈恩寺 40名程度（うち、子ども13名）</p>	<p>◆現状◆ ・9日に電気が復旧したばかりだが、未だに水道の復旧見込みなし 自衛隊の給水（毎日）と井戸水（自家発ポンプによる吸い上げ）を利用している。 ・生活の上では、物資も十分に届いているので大きく困ってはいない。 ・野菜などの生鮮食品もあり、肉類については2～3日前に届いている。 ・洗濯機を利用して洗濯もおこなっている（ただし、柔軟剤がない） ・仮設住宅については、このエリアは最後のほうと聞いている。</p> <p>◆今後の活動◆ ・仮設住宅に移れることを前提に、共有しているものが個人へと変わるので生活用品を充実させたい。 ・今後ほしい支援物資 倒壊した家の片づけに必要な掃除用具 ホウキやゴミ袋・ダンボール箱・ビニール紐をはじめ、クイックルワイパーなど 大人用（女性物）・子ども用の靴も不足している 少しずつ、季節も変わってきているので春・夏物の洋服 ・小学生には本屋やカードゲームなど物資が、たくさん届いてはいるが実際のニーズには合っていないようです。 男の子：ポケモンのカードやパズル 女の子：シールやメモ帳などのファンシーグッズ</p>

以上